



9/12 は宇宙の日! 2026 年はアルテミス計画に注目

9月12日は宇宙の日です。1992年に宇宙飛行士の毛利衛さんがスペースシャトルに乗り、宇宙へ旅立ったのを記念して制定されました。2026年はアルテミス2という有人飛行計画が精力的に進められ、4月1日に打ち上げられました。宇宙船「オリオン」が、半世紀以上の時を経て、月の周りを飛行する約10日間のミッションに成功しています。アポロ計画から50年以上の時を経てのできごとですが、アルテミス計画はここで終わりではありません。2027年のアルテミス3では着陸船とのドッキングなどの実証計画、2028年のアルテミス4では人類による月面着陸が計画されており、今後のスケジュールから目が離せません。



■ 2026年の「中秋の名月」は9/25

宇宙、とくに月へ想いを馳せるのに最適なタイミングの2026年。きれいな月夜をながめるなら、宇宙の日から約2週間後の9/25が中秋の名月(十五夜)になります。おだんごや月見そばなどを楽しみながら、秋の夜長をゆっくり過ごしたいですね。9月はグルメを楽しむにも最適な時期です。食欲の秋でもありますので、季節の味覚に舌鼓を打つのも良いですね。

USBメモリを放置すると、データが消える？

写真や書類の保存、データの受け渡しなどに便利な「USBメモリ」。小さく持ち運びやすいため、バックアップ用として使っている方も多いのではないのでしょうか。しかし、USBメモリは「ずっと保存しておける媒体」ではありません。

長期間使わずに放置すると、保存したデータが読み出せなくなることがあります。

その原因のひとつが「電子抜け」です。USBメモリ、内部の小さな領域に「電子」を閉じ込めることでデータを保存しています。電子を逃がさないための絶縁膜も、完全に密閉できるわけではありません。時間の経過とともに電子が少しずつ漏れ、一定量を下回るとデータを正しく読み取れなくなることがあります。乾電池の「自己放電」に似た現象です。

注意したいのは、「読み込むだけ」では電子は補充されないという点です。パソコンに挿してデータを見るだけでは放置していると変わらず、電子を補充するには「書き込み」が必要になります。

では、何年放置するとデータが消えるのでしょうか？一般的なデータ保持期間は5～10年程度とされますが、これはあくまで目安にすぎません。保管環境やメモリの方式によって左右されます。高温多湿な環境や直射日光の当たる場所では劣化の早まるリスクもあります。大容量・低価格のタイプは、わずかな電子の減少でもデータエラーが起きやすい傾向があります。

対策としては、定期的なデータの書き換え(リフレッシュ)の実施があります。

半年～1年に一度、USBメモリ内の全てのデータをパソコンのハードディスクなどに一時的にコピーし、USBメモリをフォーマットした後に、再度データを書き戻します。そうすることで、絶縁膜のデータ保持期間がリセットされます。しかし、USBメモリのデータ消失は電子抜けだけが原因ではありません。誤ってファイルを削除してしまう人為的ミスや、ウイルス感染によるデータ破損、頻繁な抜き差しによる端子部の劣化も、データ消滅の原因として挙げられます。



大切なデータを守るためには、USBメモリだけでなく、パソコン本体、外付けHDD・SSD、クラウドストレージなど、最低3カ所に分けて保存しておくことで安心です。この機会に引き出しの中のUSBメモリを一度チェックしてみたいはいかがでしょうか。

★ チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など

デザイン制作・印刷 お任せ下さい!

★ ホームページ制作お任せ下さい!!

オリジナルデザインで更新しやすいホームページを!
今あるホームページの編集作業もお任せ!!

◎ パソコン本体・周辺機器のご購入やパソコントラブル
ご相談下さい!

◎ パソコン教室 無料体験実施中!



株式会社 マデコム



〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田 659-1
TEL : 059-366-0888 FAX : 059-366-0877
E-Mail : office@madecom.co.jp
URL : <https://www.madecom.co.jp>
発行 : 2026年9月1日 編集・作成 : 早川尚孝